

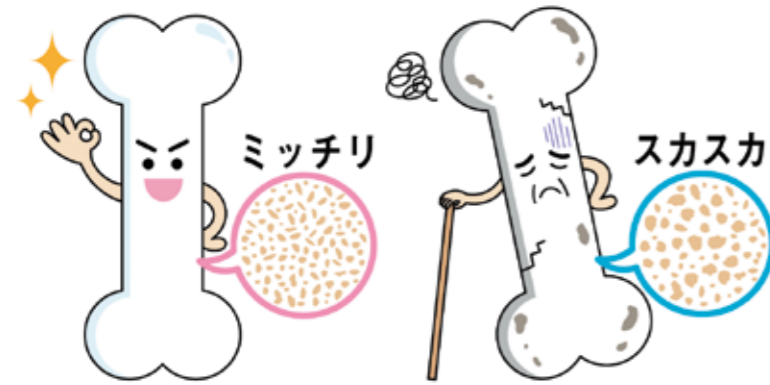
上野総合市民病院だより

◆骨粗鬆症の予防と治療について

2025年に、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」が10年ぶりにリニューアルされました。

骨粗鬆症は、骨の強さが低下し、転倒などの軽い衝撃でも骨折しやすくなる病気です。骨折をきっかけに日常生活の質を大きく損なうこともあり、しっかりと治療と予防が必要です。

治療の中心は薬物療法で、治療薬は3つのタイプ



に分けられます。骨を壊す働きを抑える「骨吸収抑制薬」、骨をつくる働きを高める「骨形成促進薬」、骨の材料となるカルシウムやビタミンDを補う「骨代謝調整薬」があります。患者さんの状態に合わせて、飲み薬、点滴薬、注射薬などを組み合わせることで、効果的に骨折のリスクを下げるができます。

ただし、治療効果を十分に引き出すカギは「継続」です。自己判断で服薬を中断したり、飲み忘れが続くと、薬の力が期待通りに働きません。飲み薬の中には、1週間に1回や1カ月に1回服用するものがあります。また、自己注射薬では毎日実施する注射薬や1週間に2回実施する注射薬があります。それぞれ計画的な服用・注射がとても重要となり、薬を適正に服用し続けることが骨折予防につながります。

骨折を防ぎ、これからの暮らしを守るために、疑問や不安がありましたら当院の医師や薬剤師にご相談ください。

(薬剤課 阿波 勇樹)

(参照 骨粗鬆症財団ホームページ <https://www.jpof.or.jp/>)

明日に向かって～差別をなくしていくために～

「NO! スポハラ」～スポーツを安全に楽しむために～ -スポーツ振興課-

皆さんは「スポハラ」という言葉をご存じですか。スポハラとは「スポーツハラスメント」のことで、スポーツ活動における暴力や暴言、差別などの不適切な行為をさします。

日本スポーツ協会は、平成25年に「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を表明し、令和5年には「NO! スポハラ」活動を始めました。

「NO! スポハラ」活動は、スポハラをなくし、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を作るための取り組みです。スポーツに関わるすべての人が、「スポハラはあってはならないもの」という価値観を持つことをめざしています。

しかし、日本スポーツ協会が実施した『「NO! スポハラ活動等」に関する認知度等調査』では、競技力が向上するのであれば、指導者による不適切行為はあっても良いと考える人が一定数いることが明

らかになりました。また、公認指導者(協会や加盟団体が認定した指導者)の中でも、20～40歳代で、不適切行為を容認する考えが多くあります。

こうしたことから、市ではスポーツ指導者向けに、スポハラに関する研修を行っています。この研修は、指導者がスポハラについての理解を深め、具体的な防止策を学ぶ場となっています。

また、日本スポーツ協会では「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」を設置していますので、不適切行為でお困りの人は協会ホームページからご相談ください。(https://www.japan-sports.or.jp)

誰もが安全・安心にスポーツを楽しむために、スポハラはあってはならないものです。「スポハラはダメ!」という価値観が広がり、スポハラを黙認せず声をあげられる環境を作りましょう。皆さんも今日から「NO! スポハラ」活動にご協力をお願いします。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



伊賀市の文化財 162

市史跡 財良寺跡(才良)

日本に仏教が伝来したのは、6世紀の中頃といわれています。仏教が伝わると、地方の豪族たちは古墳に代わり寺院を建立するようになりました。飛鳥時代の推古天皇32(624)年に46カ所だった寺院数が、持統天皇6(692)年には545カ所となったといわれており、爆発的に寺院が増えました。

この頃の伊賀国には、財良寺跡のほか三田廃寺(三田)、鳳凰寺廃寺(鳳凰寺)、夏見廃寺(名張市夏見)の4つの寺院がありました。廃寺とはかつて所在した寺の跡という意味ですが、財良寺は、東大寺の歴史をまとめた『東大寺要録』という記録に「伊賀国財良寺 天武天皇御願」と記されていることから「財良寺跡」と呼んでいます。

財良寺跡は才良地区の集落の南側、旧丸山中学校の西側にありました。寺跡の規模は、東西160メートル、南北100メートルの範囲と考えられています。空中写真からは、周囲より一段高い四角い区画がうかがえます。また古い地区には、寺跡があった辺りは「北之坊」「慶言院」「奥坊」といった寺院を思わせる地名が残っていました。「慶言院」は東大

寺と同じ華嚴宗であったことを示しているのかもしれませんが。

出土した軒丸瓦は、栗原寺(桜井市)と同範(同じ型から作ったもの)で、大和国の豪族と強い結びつきがあったことがうかがえます。

東側の山を背に西側を木津川に面した風光の地に、塔や金堂など壮麗な伽藍があった、いにしへの姿を思い浮かべることができます。

文化財課 ☎ 22-9678 FAX 22-9667



▲昭和38(1963)年撮影 空中写真(国土地理院)



▲財良寺跡出土の軒丸瓦

【お詫びと訂正】 広報いがが令和7年12月号に掲載の「伊賀の歴史余話(44)」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤) フランス積み → 正) イギリス積み



「イガプロ」とは、「イガ」と「プロダクト(製品)」、「プロフェッショナル(専門家)」などさまざまな「プロ」を掛け合わせた造語です。

Rohto ロート製薬 上野テクノセンター

ロート製薬 上野テクノセンターは、1999年の竣工以来、医薬品である点眼薬とともに、スキンケア製品の生産も担い、その技術を国内外へ展開してきました。ロート製薬は「目薬のイメージ」が強いかもしれませんが、肌の悩みに寄り添うスキンケアブランド「肌ラボ」シリーズをはじめとする幅広い製品を作っています。上野テクノセンターは、ロート製薬のマザー工場として大切な役割を担っています。

操業開始当初から大切にしてきた「モノづくりは人づくり」という考えのもと、人材育成や設備の充実に取り組みながら、改善活動を継続しています。点眼薬とスキンケアという異なる領域の製品を生み出すためには、日々の丁寧な作業と確かな技術が欠かせません。

これからも地域とともに、安心・安全な製品づくりを続け、皆さんの日常に寄り添う存在であり続けます。

◆社員コメント

2023年に入社しました。研修を経て、上野テクノセンターに配属され、高い技術力と温かな社風に日々刺激を受けています。省エネや脱炭素化など環境に優しい工場を目標に、若手として挑戦を続け、地域に寄り添いながら伊賀市の魅力である豊かな自然を守り、地球の未来へ持続的に貢献していきます。(生産技術部 島田 拓弥)



◆上野テクノセンター概要

【竣工】 1999年
【所在地】 伊賀市ゆめが丘7-3
【従業員数】 586名
【事業概要】 医薬品・医薬部外品・化粧品
の製造
【連絡先】 ☎ 26-2111



<https://www.rohto.co.jp/>

問 商工労働課 企業誘致推進室 ☎ 22-9727 FAX 22-9695